

特定非営利活動法人 日本分子生物学会

理事長 大隅 典子 先生

拝 啓

平成25年8月7日付けで本学総長宛てにお送りいただいた加藤茂明氏の論文不正問題に関する要望書に回答いたします。本件の重大性に鑑み、調査結果に正確を期すことが極めて重要であることから、慎重に調査等を進めております。お返事が遅くなりましたことをお詫びいたします。

本件は本学だけの問題に留まらず、日本の学術全体への信頼に関わる問題であると認識しており、不正行為の実態や加藤氏の責任、不正行為が起こった背景等について鋭意調査を行っているところでございます。

しかしながら、調査対象の論文が多数存在することや、不正行為の事実認定に専門性の高い判断が必要であることなどから、調査には相応の時間を要しております。調査結果は、今後、科学研究行動規範委員会による検証や、関係者の弁明確認、不服申立て等の手続きを経て確定いたします。本委員会の調査結果は、関係者に非常に大きな影響を与えるものであることから、手続きを含めて慎重かつ厳正に調査を進めております。このため、本学といたしましては、現在の段階では、調査結果を公表できる段階には至っておりません。先頃、本件につき報道がなされたところではありますが、報道が行われたことやその内容は、本学の本意ではありません。

本件に関しては、大学として早急な全容解明に尽力いたしておりますので、何卒ご理解を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

敬 具

平成25年10月17日

国立大学法人東京大学

理事・副学長（科学研究行動規範担当）

大 和 裕 幸

大和 裕幸